

# 平成14年度事業報告書

(平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)

本財団は、昭和61年11月にテクノポリス建設の推進を目的に、「財団法人愛媛テクノポリス財団」として設立されて以来、人材の育成事業や産学共同研究の助成、起業家支援等を通じて、地域産業の技術の高度化及び研究開発型企業の育成支援に努めた。

平成3年4月にオープンしたテクノプラザ愛媛(愛媛県有施設)の管理運営主体として、施設・設備の適正管理及び利用促進を図り、人材育成セミナー、産学交流会、先端技術の展示等、各種事業を積極的に展開してきた。

平成9年4月には、類似業務を行っていた「財団法人愛媛県技術開発振興財団」を統合し、「財団法人愛媛県産業技術振興財団」と改称した。

平成11年6月には、新事業創出促進法に基づく中核的支援機関の認定を受け、さらに平成12年5月には、中小企業支援法に基づく、愛媛県中小企業支援センターとして指定され、研究開発から事業化にわたるベンチャー企業との事業活動を積極的に支援し、県内産業の未来型知識産業への転換を促進していくために、新産業創出支援体制の構築に努めた。

平成13年4月には、本財団を母体として、「財団法人愛媛県中小企業振興公社」及び「財団法人愛媛県産業情報センター」を統合し、「財団法人えひめ産業振興財団」として発足し、愛媛県産業情報センター(愛媛県有施設)の管理運営を引き継ぐと共に、起業家精神に富んだ創業者や、新事業分野へ進出する企業を応援することにより、新産業の創出を図り、また県内中小企業の未来型知識産業への転換を推し進めるため、総合的かつ効率的支援を行っている。

平成14年度は、ビジネス・サポート・オフィスの相談体制を一新したほか、新たにスタートアップ支援オフィスの設置、大学との連携による創業講座の開設、IT活用によるASPシステムの運営、大学発起業化助成事業、さらには、産学官連携を推進するため地域新生コンソーシアム研究開発事業や都市エリア産学官連携促進事業に取り組むなど、県内経済の活性化のため実効性のある事業を展開してきた。

財団が寄付行為第4条に基づき平成14年度に実施した事業の概要は、次頁以降のとおりである。

## 第1 事業の概要

### 1 新産業創造部関係

#### (1) 広報事業

財団事業を紹介し、テクノプラザ愛媛の利用促進を図るため、広報誌「WIN WIN EHIME」(旧テクノプラザだより)を次のとおり発行し、関係機関等へ配布した。

広報誌「WIN WIN EHIME」の発行

ア 規格 A4版 2色 4ページ  
イ 部数 3,000部  
ウ 時期 年11回発行

#### (2) テクノプラザ愛媛管理運営事業

愛媛県からの委託により、「テクノプラザ愛媛」の管理・運営を行った。また、インキュベータールーム等に入居する企業同士の交流を促進するため、交流会活動の支援を行った。

施設の利用促進

ア テクノプラザ愛媛の利用状況

| 項目      | 件数  | 人数     |
|---------|-----|--------|
| テクノホール  | 122 | 9,832  |
| 特別会議室   | 51  | 820    |
| 会議室     | 384 | 6,400  |
| 研修室     | 170 | 4,256  |
| O A 研修室 | 128 | 2,408  |
| 貸出機器    | 144 | 144    |
| テクノ科学館  | -   | 4,780  |
| 合計      | 999 | 28,640 |

イ テクノプラザ愛媛入居企業の状況

次頁のとおり

テクノプラザ愛媛交流会

Technoplaza Ehime Incubate Social Club(略称「T i sクラブ」)は、相互交流、情報交換及び創造的企業活動の支援等を目的として、テクノプラザ愛媛入居企業により平成3年10月1日に発足したものであり、平成14年度には、定例会や交流研修活動を実施した。

テクノプラザ愛媛入居企業

(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

| 企業名                   | 所在地                | 産業分野              | 入居室番号              | 入居許可期間             | 備考               |
|-----------------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------|------------------|
| 河野新素材開発(株)            | 松山市                | 高機能材料             | 201                | H.9.4<br>～H.15.3   | H.12.4.1<br>期間延長 |
| 日本環境プラント(株)           | 東予市                | バイオ<br>テクノロジー     | 202                | H.11.4<br>～H.17.3  | H.14.4.1<br>期間延長 |
| (有)デジタルピア             | 松山市                | 都市型ハイテク           | 203                | H.13.1<br>～H.15.12 |                  |
| エフラインテクノロジー(有)        | 松山市                | 情報通信              | 204                | H.14.10<br>～H.17.9 |                  |
| システムエルエスアイ(株)         | 松山市                | 高度システム            | 205・310            | H.11.4<br>～H.17.3  | H.14.4.1<br>期間延長 |
| (株)システムプロダクト          | 松山市                | 都市型ハイテク           | 301                | H.12.8<br>～H.15.7  |                  |
| パーカル(株)               | 松山市                | 高度システム            | 302                | H.9.4<br>～H.14.11  | H.12.4.1<br>期間延長 |
| 中予電器(株)               | 松山市                | 都市型ハイテク           | 303                | H.9.9<br>～H.14.9   | H.12.9.1<br>期間延長 |
| (有)ノア・システム・ラボ         | 松山市                | 情報通信              | 303                | H.14.11<br>～H.17.9 |                  |
| トーヨカラー(株)             | 土居町                | 環境                | 304                | H.14.10<br>～H.17.9 |                  |
| クレストデジタルズ(株)          | 松山市                | 高度システム            | 305                | H.13.7<br>～H.14.7  |                  |
| てこ合資会社                | 松山市                | 情報通信              | 305                | H.14.10<br>～H.17.9 |                  |
| (有)テクノ<br>グループジャパン    | 砥部町                | 高度システム            | 306                | H.9.4<br>～H.15.3   | H.12.4.1<br>期間延長 |
| テン・トゥ・ワン(有)           | 横浜市                | 高度システム            | 307                | H.13.4<br>～H.14.12 |                  |
| (有)エイエスエー             | 松山市                | 高度システム            | 308                | H.9.4<br>～H.15.3   | H.12.4.1<br>期間延長 |
| (有)上田電子開発             | 松前町                | 都市型ハイテク           | 309                | H.9.4<br>～H.15.3   | H.12.4.1<br>期間延長 |
| システムエルエスアイ(株)         | 松山市                | 高度システム            | 310                | H.11.4<br>～H.17.3  | H.14.4.1<br>期間延長 |
| (株)ケインズ<br>コンピュータシステム | 松山市                | 都市型ハイテク           | 311                | H.9.4<br>～H.15.3   | H.12.4.1<br>期間延長 |
| 愛媛テクノ<br>ジョイントベンチャー   | 新居浜市               | 高度システム<br>都市型ハイテク | 312・313<br>314・315 | H.9.4<br>～H.15.3   | H.12.4.1<br>期間延長 |
| (株)ピーエスシー             | 松山市                | 情報通信              | 316・317            | H.14.2<br>～H.17.1  |                  |
| NTT西日本 愛媛支店           | 松山市                | 都市型ハイテク<br>企業支援   | 318・319            | H.3.4<br>～H.15.3   | H.12.4.1<br>期間延長 |
| 合計                    | 18企業(平成15年3月31日現在) |                   |                    |                    |                  |

(3) 創業・経営基盤強化総合支援事業

プロジェクトマネージャー等支援人材育成強化事業

創業予定者や県内企業からの各種の相談に対応するため、平成11年8月からテクノプラザ愛媛内に開設している「ビジネスサポートオフィス」を引き続いて設置し、440件の相談に対応した。平成14年7月に、相談員の人心を一新し、プロジェクトマネージャー1名のほか、サブマネージャー4名を委嘱した。

相談件数（平成14年4月1日から平成15年3月31日まで）

| 相談内容 | 4月～6月 | 7月～9月 | 10月～12月 | 1月～3月 | 計   |
|------|-------|-------|---------|-------|-----|
| 創業   | 17    | 32    | 67      | 61    | 177 |
| 経営革新 | 3     | 17    | 28      | 36    | 84  |
| その他  | 40    | 36    | 40      | 63    | 179 |
| 計    | 60    | 85    | 135     | 160   | 440 |

事業可能性評価委員会運営事業

○ 事業可能性評価委員会（支援人材評価専門部会）

当委員会は、テクノプラザ愛媛ビジネスサポートオフィス常駐のプロジェクトマネージャー及びサブマネージャー選定について審議するために、次のとおり開催した。

| 開催年月日        | 開催場所              | 審議事項                                    |
|--------------|-------------------|---|
| 平成14年6月3日(月) | テクノプラザ愛媛<br>特別会議室 | テクノプラザ愛媛ビジネスサポートオフィスのプロジェクトマネージャー選定について |
| 平成14年6月4日(火) | テクノプラザ愛媛<br>特別会議室 | テクノプラザ愛媛ビジネスサポートオフィスのサブマネージャー選定について     |

事業可能性評価委員会（専門家派遣事業専門部会）

経営技術診断助言等事業支援企業について審議するために、次のとおり開催した。

| 開催年月日        | 開催場所              | 審議事項                        |
|--------------|-------------------|-----------------------------|
| 平成14年8月8日(木) | テクノプラザ愛媛<br>特別会議室 | 経営技術診断助言に係る専門家派遣対象企業の選定について |

○ 事業可能性評価委員会（事業評価専門部会）

当委員会は、テクノプラザ愛媛のインキュベート・ルーム入居者の選定について審議するために、次のとおり開催した。

| 開催年月日         | 開催場所              | 審議事項                           |
|---------------|-------------------|--------------------------------|
| 平成14年9月13日(金) | 持ち回り              | テクノプラザ愛媛への入居者の選定について（新規入居 4社）  |
| 平成15年3月13日(火) | テクノプラザ愛媛<br>特別会議室 | テクノプラザ愛媛への入居者の選定について（新規入居 11社） |

事業可能性評価委員会（事業評価専門部会）

高度技術研究所の運営方針や研究テーマ等について審議するため、次のとおり開催した。

| 開催年月日         | 開催場所              | 審議事項                           |
|---------------|-------------------|--------------------------------|
| 平成15年3月13日(木) | テクノプラザ愛媛<br>特別会議室 | 平成14年度 研究実績<br>平成15年度 研究テーマの選定 |

事業可能性評価委員会（事業評価専門部会）

販路開拓マーケティング支援事業企業審査のため次のとおり開催した。

| 開催年月日         | 開催場所              | 審議事項                          |
|---------------|-------------------|-------------------------------|
| 平成14年8月5日(月)  | テクノプラザ愛媛<br>特別会議室 | 販路開拓マーケティング支援<br>ギフトショー出展企業選定 |
| 平成14年9月5日(木)  |                   | 販路開拓マーケティング支援 西日本国際福祉         |
| 平成14年9月30日(月) |                   | 販路開拓マーケティング支援 インターネッ コンパニ     |

事業可能性評価委員会（事業評価専門部会）

商品化新事業化可能性調査事業支援企業について審議するため、次のとおり開催した。

| 開催年月日          | 開催場所              | 審議事項                          |
|----------------|-------------------|-------------------------------|
| 平成14年10月10日(木) | テクノプラザ愛媛<br>特別会議室 | 商品化新事業化可能性調査事業応募企業<br>の選定について |

#### 支援体制整備円滑化事業

各種支援事業の円滑な遂行を行うために、以下の方法により広報を実施した。

1. 松山駅前ポケットサイズ版時刻表(表紙への広告) 10,000部
2. 新聞広告
  - (1) 日本経済新聞社半5段広告2回 (3/20, 3/27)
  - (2) 愛媛新聞半5段広告1回 (3/26)

#### 支援機関広域連携活動事業

他県支援機関等との情報交換や支援体制の整備、機能強化のための調査等を行った。

#### 支援機関等連携強化事業（ワンストップサービス推進事業）

支援機関相互の連携を図り、県内の人的ネットワークを構築するため、新事業支援機関連絡会議を6回開催した。

また、支援機関担当者のスキルアップを図るため、連絡会議の開催に合わせて、人材育成セミナーを2回開催した。

| 回   | 日時・場所・内容  |
|-----|---|
| 第1回 | 平成14年4月26日(金) テクノプラザ愛媛<br>同日開催/支援機関人材育成セミナー<br>講師：中小企業庁経営支援部 真鍋 隆 参事官<br>テーマ：「中小企業の経営革新について」    |
| 第2回 | 平成14年6月14日(金) テクノプラザ愛媛  |
| 第3回 | 平成14年7月25日(木) テクノプラザ愛媛<br>同日開催/支援機関人材育成セミナー<br>講師：一橋大学大学院商学研究科 関 満博 教授<br>テーマ：「これからの地域産業振興のあり方」 |
| 第4回 | 平成14年9月13日(金) テクノプラザ愛媛  |
| 第5回 | 平成14年11月8日(金) テクノプラザ愛媛  |
| 第6回 | 平成15年3月14日(金) テクノプラザ愛媛  |

#### 相談窓口・専門家派遣事業

ビジネスサポートオフィスの相談機能を補完し、より専門的な相談に対応するとともに企業の需要に応じて訪問指導を行うためのビジネスアドバイザーを49名委嘱した。

相談件数(平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)

[再掲]

| 相談内容  | 4月～6月 | 7月～9月 | 10月～12月 | 1月～3月 | 計   |
|-------|-------|-------|---------|-------|-----|
| 創 業   | 17    | 32    | 67      | 61    | 177 |
| 経営革新  | 3     | 17    | 28      | 36    | 84  |
| そ の 他 | 40    | 36    | 40      | 63    | 179 |
| 計     | 60    | 85    | 135     | 160   | 440 |

#### 事業者間連携新事業開発促進事業(中央会委託：異業種グループ交流支援)

異業種グループの交流を通じて技術、資金、人材、市場等の地域資源を発掘し、新技術の開発や新事業展開を促進した。

##### ア 愛媛県異業種グループ責任者会議

愛媛県異業種グループ連絡会構成員グループ責任者等を構成員とした会議を3回開催し、支援事業の実施方法等について論議した。

| 回数    | 開催日             | 場 所                   | 出席者数 | 議 題   |
|-------|-----------------|-----------------------|------|---|
| 第 1 回 | 平成14年<br>8月20日  | テクノプラザ愛媛<br>2階研修室     | 26人  | 1.平成14年度異業種グループ支援事業計画について<br>2.異業種グループ交流フォーラム事業について<br>3.地域資源発掘コーディネーター派遣事業について |
| 第 2 回 | 平成14年<br>11月15日 | 東京第一ホテル松山<br>スカイブリリアン | 26人  | 1.地域資源発掘コーディネーター派遣事業の実施状況<br>2.県外展開支援事業の実施について<br>3.㈱四国総合研究所からの共同開発事業等の提案について   |
| 第 3 回 | 平成15年<br>3月17日  | 東京第一ホテル松山<br>2階ゴールド   | 25人  | 1.平成14年度事業者間連携新事業開発促進事業実施状況について<br>2.今後の事業のあり方について                              |

#### イ 愛媛県異業種グループ交流フォーラム事業

異業種グループの活動を通じた新事業展開に対する意識啓発、ニーズの喚起、新規参加グループの発掘を行うためにフォーラムを開催した。

| 開催日            | 場 所               | 出席者数                         | 基調講演<br>・分科会 | 内 容   |
|----------------|-------------------|------------------------------|--------------|---|
| 平成14年<br>10月1日 | 東京第一<br>ホテル松<br>山 | 基調講演<br>148人                 | 基調講演         | テーマ「21世紀の中小・中堅企業」<br>講師 ㈱堀場製作所 会長 堀場雅夫  |
|                |                   | 第一分科会<br>36人                 | 第一分科<br>会    | テーマ「シルバー関連産業ビジネスへの取り組み」<br>コーディネーター<br>愛媛大学法文学部教授 水口和寿<br>パネリスト<br>キシホ工業㈱ 代表取締役 中川 勝<br>㈱ユイシステム工房 代表取締役 中川恭治<br>NPO 法人 JMX 代表取締役 杉浦房江 |
|                |                   | 第二分科会<br>62人<br><br>(総数150人) | 第二分科<br>会    | テーマ「環境関連産業ビジネスへの取り組み」<br>コーディネーター<br>新日本監査法人 公認会計士 原田満範<br>パネリスト<br>トヨカラー㈱ 代表取締役 森高準一<br>㈱モリオト 代表取締役 森実達治<br>㈱セトスイフードサービス 代表取締役 菊池一正  |

ウ 地域資源発掘コーディネーター派遣事業

4つのテーマに分かれた研究会を発足し、コーディネーター、BSOスタッフを派遣して新商品の開発や技術研究などを行った。

1. 農産物・食品加工分野グループ研究会

| 回数   | 日時              | 場所         | 出席者数 | コーディネーター | テーマ・内容                 |
|------|-----------------|------------|------|----------|------------------------|
| 第1回  | 平成14年<br>10月22日 | 中央会会議室     | 16人  | -        | ヘルシー商品の開発と販路開拓         |
| 第2回  | 平成14年<br>11月25日 | 東京第一ホテル松山  | 17人  | 上野祐子     | 新商品開発とマーケティング          |
| 第3回  | 平成15年<br>1月9日   | 東京第一ホテル松山  | 10人  | 上野祐子     | 大消費地へ販路開拓新商品開発とマーケティング |
| 個別支援 | 平成15年<br>1月31日  | 大三島果汁工業(株) | 4人   | 上野祐子     | 県外向け製品開発に係る留意点         |

2. 環境対応分野グループ研究会

| 回数   | 日時             | 場所                  | 出席者数     | コーディネーター | テーマ・内容   |
|------|----------------|---------------------|----------|----------|--|
| 第1回  | 平成14年<br>12月9日 | ホテルJALシティ松山         | 17人      | -        | 廃棄物処理研究による経営の合理化                               |
| 第2回  | 平成15年<br>1月16日 | 東京第一ホテル松山           | 14人      | 上野祐子     | 各企業廃棄物処理の改善のポイントと他企業の取り組み事例<br>今後の研究テーマの設定について |
| 個別支援 | 平成15年<br>2月18日 | あわしま堂(株)<br>森文醸造(株) | 5人<br>5人 | 上野祐子     | 製造工程等から出る食品残渣等の有効利用方法                          |
| 個別支援 | 平成15年<br>2月19日 | 仙味エキス(株)            | 10人      | 上野祐子     | 製造工程等から出る食品残渣等の有効利用方法                          |

### 3. 地域情報発信分野グループ研究会

| 回数       | 日時             | 場所                        | 出席者数 | コーディネーター | テーマ・内容   |
|----------|----------------|---------------------------|------|----------|--|
| 第1回      | 平成14年<br>12月5日 | ホテルJALシ<br>ティ松山           | 13人  | -        | 各企業における情報発信取組み状況と具体的事例<br>(株)エスピーシーが取り組む地域情報発信 |
| 第2回      | 平成15年<br>2月17日 | ホテルJALシ<br>ティ松山           | 14人  | 千田泰弘     | 異業種ネットワークの構築と企業間マッチング「広域異業種交流の現状と課題」～地域の枠を越えて～ |
| 個別<br>支援 | 平成15年<br>2月18日 | (株)四国総合研<br>究所電子技術<br>研究所 | 9人   | 千田泰弘     | コンピュータシステム開発の留意点                               |

### 4. 安らぎビジネスグループ研究会

| 回数  | 日時              | 場所            | 出席者数 | コーディネーター | テーマ・内容   |
|-----|-----------------|---------------|------|----------|--|
| 第1回 | 平成15年<br>12月18日 | 東京第一ホテ<br>ル松山 | 15人  | -        | 安らぎビジネスアクションプランの作成                                     |
| 第2回 | 平成15年<br>2月3日   | 東京第一ホテ<br>ル松山 | 19人  | 池谷明彦     | グループホームの市場調査・成功の決め手<br>先進事例の事例研究<br>安らぎビジネスグループ研究会の方向性 |

#### エ 県外展開支援事業

県内企業の県外での商談をコーディネートしたり市場調査等を行うために県外コーディネーターとして次の4人を委嘱し、大阪で商談会を開催した。

(株)ケイ・ジェイ・エス・ネット 常務取締役 千田泰弘

中小企業診断士 池谷明彦

(株)マーケティングダイナミックス研究所 代表取締役 上野祐子

京都市サーチパーク(株) インキュベーション部長 定藤繁樹

コミュニティ・ライフスタイルビジネス育成モデル事業（東予産業創造センター委託）  
 主婦や企業退職者等が個人の生活や経験に基づいた新しいライフスタイルビジネスを創出するために勉強会（3回）、研究会（2回）、先進地調査（2ヵ所東京・大阪）、市場調査（1件）を実施するとともに、アイデアの具体化、事業化、ビジネスプラン作成等に係る専門家の派遣（3回）などにより県内各地の多様なビジネス創出の一助となった。

#### 地域資源データベースシステム構築事業

県内企業情報のデータベースを構築し、機器リースにより情報提供環境を整備するとともに、支援策を紹介したパンフレットを改定し、2000部印刷して支援機関や県内企業に提供した。

#### 起業家人材発掘・育成事業（大学等へ委託）

##### ア．松山大学・愛媛大学創業講座（無料講座）

松山大学・愛媛大学の学生に加え、県内の学生や、創業を希望する社会人を対象とした公開講座を実施し、大学と県及び各支援機関がスクラムを組んで、広く創業に対する意識啓発を行った。

##### 松山大学経済学部「日本経済とベンチャー企業」受講実績

| 講演名          | 研修内容  | 講師                                    | 日程                              | 延べ参加者  |
|--------------|---|---------------------------------------|---------------------------------|--------|
| 日本経済とベンチャー企業 | ・ベンチャー論概要<br>・企業経営者のケーススタディ<br>・ベンチャー支援の現状等<br>全12回 | 松山大学経済学部<br>教授他民間ベンチャー企業社長各支援機関職員等12名 | 平成14年4月17日<br>～7月10日<br>(毎週水曜日) | 3,000人 |

##### 松山大学経営学部「ベンチャービジネス論 - 起業のための知識と技術 - 」受講実績

| 講演名                        | 研修内容   | 講師                       | 日程                              | 延べ参加者  |
|----------------------------|--|--------------------------|---------------------------------|--------|
| ベンチャービジネス論 - 起業のための知識と技術 - | ・ベンチャービジネス成功の鍵<br>・ベンチャーのマーケティング<br>・ビジネスプランの作成演習等<br>全12回 | 松山大学経営学部<br>教授他民間工場のト等6名 | 平成14年4月15日<br>～7月15日<br>(毎週月曜日) | 2,160人 |

##### 愛媛大学公開セミナー受講実績

| 講演名              | 研修内容  | 講師                          | 日程                             | 延べ参加者  |
|------------------|---|-----------------------------|--------------------------------|--------|
| 創業・ベンチャー企業支援セミナー | ・イノベーションと企業家精神<br>・ベンチャーの技術、資金調達、マーケティング<br>・ビジネスプラン等全14回 | 大学教授及びベンチャー企業社長、支援機関関係者等14名 | 平成14年10月4日<br>～2月7日<br>(毎週金曜日) | 3,080人 |

##### 愛媛大学創業支援公開セミナー受講実績

| 講演名      | 研修内容                                    | 講師             | 日程                                     | 延べ参加者 |
|----------|---|----------------|--|-------|
| 特許研修セミナー | ・特許制度の概要<br>・特許明細書の書き方<br>・特許情報の戦略的活用方法 | 企業特許担当者、弁理士等6名 | 平成14年6月5日<br>～6回<br>平成14年10月9日<br>～10回 | 800人  |

#### イ． 起業家養成セミナー（有料講座）

創業間もない起業家、経営多角化を目指している経営者、学生などを対象として企業経営に必要な知識の提供及び新しいビジネスプランの作成を通じて経営能力を高めるためのセミナーを1回開催した。

#### 起業家養成セミナー受講実績

| 講演名           | 研修内容  | 講師                                      | 日程                               | 参加者 | 受講料        |
|---------------|---|---|----------------------------------|-----|------------|
| 起業家育成コース      | ・ 起業家精神の考察<br>・ 思考プロセスの分析<br>・ 事業の構想化<br>・ プレゼンテーション他 | (株)アントレプレナー<br>センター<br>代表取締役社長<br>福島 正伸 | 平成15年<br>3月8日<br>3月9日<br>(土・日)   | 24人 | 5,000<br>円 |
| 起業家的経営<br>コース | ・ 事業家戦略と問題点<br>・ 資金調達と資金繰<br>・ 会社経営の実践ノウハウ            | (株)アントレプレナー<br>センター<br>代表取締役社長<br>福島 正伸 | 平成15年<br>3月22日<br>3月23日<br>(土・日) | 23人 | 5,000<br>円 |
| 合 計           |   |   |                                  | 47人 |            |

#### 創業支援人材登録・派遣事業

シニアベンチャーアドバイザーの募集、登録を実施(登録25名)した。

#### インキュベーションマネージャー養成研修事業

公募により選考したビジネスサポートオフィス相談員2名を(財)日本立地センター主催の日本新事業育成専門家養成等研修事業に派遣し、相談窓口における創業支援機能の強化を図った。

#### 地域新事業創出成果発表・事例研究会開催事業

産学官の関係者を集め新事業創出に向けた取り組み事例等について、県外講師を招いてセミナーを開催した

| 時 期              | 内 容  | 参加者 |
|------------------|--|-----|
| 平成15年<br>2月12(水) | ・ 講演1：「技術力で挑戦する中小企業に向けて」<br>経済産業省中小企業庁経営支援部 技術課長 脇本 眞也 氏<br>・ 講演2：「現代版「鍛冶屋」のものづくり」<br>株式会社ヒガノ 代表取締役 日向野 吉一 氏 | 97人 |
| 平成15年<br>3月5日(水) | ・ 講演会<br>「環境に拠る経営革新と事業創出」<br>株式会社オフィスエイ コピ`ジ`ネツネットワーク 代表 安藤 眞 氏  | 73人 |

#### 商品化新事業化可能性調査事業

中小企業や創業を目指す個人の新しい商品やサービスの開発で、事業化に至っていないテ

ーマについて、外部機関に委託して商品化・事業化可能性調査を行うもので、平成14年度は、次の申請者のテーマを調査した。

| 申請者            | テーマ名                          |
|----------------|-------------------------------|
| ユースエンジニアリング(株) | 車椅子用 段差解消キャスターの事業化            |
| キシホ工業(株)       | 車椅子用バスタブの開発及び市場調査             |
| 新居浜建機レンタル(株)   | コンクリート破砕粉塵の再利用商品の開発           |
| (株)サンハーモニー     | 床面滑り止め施行メンテナンスシステム            |
| 村上 武幸          | 軽トラック用FRP製ウイングの商品化可能性調査       |
| (株)トーヨ         | 電気防災服、難燃絶縁服の開発及び市場調査          |
| (有)サンリツ        | 飲料廃棄物を利用した機能性プラスチック形成品の商品化    |
| 渡邊パイル織物(株)     | 異素材利用特殊綿布織物のマーケティング調査         |
| (株)カネト         | 地域密着型商品情報等提供サービスの商品化・新事業可能性調査 |
| 合田 博之          | 介護手袋の商品化・新事業可能性調査             |
| 計 10 件         |                               |

#### 販路開拓マーケティング支援事業

ギフトショー(東京：繊維・タオル関係業者)、インターネブコン(東京：IT・機械関係)、西日本国際福祉機器展(北九州市：福祉器具)において、県内事業者が開発した新製品の展示会出展支援を行った。

| 展示会名   | 出展支援企業名                                 | 出展物等                                       |
|--|---|--|
| ギフトショー<br>14.9.4～9.6<br>東京ビックサイト               | (有)オルネット<br>(株)ヒサオー<br>八木満タオル(株)        | 各種タオル製品<br>備長炭・竹タオル<br>超吸水タオル              |
| 西日本国際福祉機器展<br>14.11.21～11.23<br>西日本総合展示場(北九州市) | キシホ工業(株)<br>一宮化成工業(株)<br>ユースエンジニアリング(株) | 車椅子用バスタブ<br>くるくるライダー<br>段差解消車椅子            |
| インターネブコンジャパン<br>15.1.22～1.24<br>東京ビックサイト       | タケチ工業ゴム(株)<br>(株)サバン<br>(株)シーライブ        | 電波吸収体<br>サーバーNET STATION<br>モーター-余寿命判断システム |
| 3 展示会  | 9 社                                     |  |

#### 新事業支援施設支援強化事業

県内のインキュベーション施設入居企業又は愛媛県アクティブベンチャー支援事業対象企業に対して、スペシャルアドバイザー(経営や財務の専門家)を配置して、集中的な支援を行った。支援した企業は4社、支援した延べ回数は計79回、支援内容は経営全般・商品化・情報技術等であった。

| 支援対象企業                           | スペシャルアドバイザー                      | 支援回数 | 支援内容              |
|----------------------------------|----------------------------------|------|-------------------|
| (有)オルソ<br>(アクティブベンチャー支援先)        | えひめ産業振興財団<br>ビジネスアドバイザー<br>上田清一郎 | 11回  | 経営全般              |
| シンセス(株)<br>(西条支援センター入居)          | (株)昇栄丸商店<br>加藤和彦                 | 20回  | データベース、ソフト開発指導    |
| (株)ケイブコンピュータシステム<br>(テクノプラザ愛媛入居) | (株)フラッグシップ<br>廣川 章               | 30回  | 経営全般              |
| クリステジナルズ(株)<br>(アクティブベンチャー支援先)   | (株)サブリッジテクノロジーズ<br>宮野 豊          | 18回  | 業務用データベース<br>技術支援 |
| 4企業                              | 4名                               | 79回  |                   |

<参考> 県内の公的インキュベート施設

| インキュベート施設名   | 入居施設部屋数 | 入居企業数 |
|--------------|---------|-------|
| テクノプラザ愛媛     | 22室     | 20社   |
| 東予産業創造センター   | 13室     | 10社   |
| 西条産業情報支援センター | 12室     | 12社   |
| 3施設          | 47室     | 42社   |

フロンティア企業クラブ

「フロンティア企業クラブ」は、企業間や産学官の連携を通して、新たな事業開拓に積極的に取り組む企業を、地域が一体となって育成・支援していく組織として「産学ヒューマンテクノ塾」を改組し、平成10年3月2日に発足した。

当財団では、当クラブの育成・支援を行うため、セミナーの共催や情報提供などの事業支援を行った。

(参考)

## フロンティア企業クラブ活動状況

| 区分           | 日時・場所  | 事業内容  | 参加者 |
|--------------|--|---|-----|
| 幹事会<br>(第1回) | 平成14年<br>6月12日(水)<br>11:00~<br>テクノラザ 愛媛        | 幹事会の開催<br>・13年度決算報告等の承認<br>・14年度事業実施の承認<br>・新規会員企業の勧誘について   | 10人 |
| 産官交流会        | 平成14年<br>8月6日(火)<br>15:00~<br>愛媛県産業<br>情報センター  | 産官交流会の開催<br>・講演1:「愛媛県における産学官連携の状況について」<br>愛媛県経済労働部 次長 高島 昌明 氏<br>・講演2:「知的財産の潮流について」<br>住友化学工業(株)基礎化学品研究所<br>主席研究員 塩田 正 氏      | 40人 |
| 産学交流会<br>(1) | 平成14年<br>9月20日(金)<br>13:30~<br>愛媛大学            | 産学交流会の開催<br>第1回産学官技術移転交流会「産学官連携で新事業の<br>展開を」への参画<br>・基調講演:「疑わずして真実が見出せるか - 海図なき<br>21世紀を探る」<br>広島工業大学 名誉教授 中山 勝矢 氏            | 23人 |
| 産学交流会<br>(2) | 平成14年<br>10月4日(金)<br>10:00~<br>新居浜工業高<br>等専門学校 | 産学交流会の開催<br>第2回産学官技術移転交流会「産学官ネットワークの<br>構築を目指して」への参画<br>・基調講演:「地域活性化とこれからの産学官連携」<br>ユースビジョリアリング(株) 代表取締役 平田 利實 氏<br>・シーズ発表    | 32人 |
| セミナー         | 平成15年<br>2月12日(水)<br>13:30~<br>テクノラザ 愛媛        | セミナー開催(財団と共催)<br>・講演1:「技術力で挑戦する中小企業に向けて」<br>経済産業省中小企業庁経営支援部<br>技術課長 脇本 真也 氏<br>・講演2:「現代版「鍛冶屋」のものづくり」<br>(株)ヒガノ 代表取締役 日向野 吉一 氏 | 97人 |
| 幹事会<br>(第2回) | 平成15年<br>3月5日(水)<br>13:00~<br>テクノラザ 愛媛         | 幹事会の開催<br>・14年度事業報告及び決算見込の承認<br>・15年度事業計画及び収支予算の審議  | 8人  |
| 総会           | 平成15年<br>3月5日(水)<br>13:45~<br>テクノラザ 愛媛         | 総会の開催<br>・14年度事業報告及び決算見込の承認<br>・15年度事業計画及び収支予算の審議<br>・記念講演会(財団と共催)<br>「環境に拠る経営革新と事業創出」<br>(株)オフィスメイ エコビジネスネットワーク 代表 安藤 真 氏    | 73人 |
| 会報           | 平成14年6月<br>9月、12月<br>平成15年2月                   | 会報の発行<br>・会員企業の事業活動状況、クラブ行事の案内等を掲<br>載  | -   |
| かわら版         | 随時<br>(24回)                                    | かわら版の発行<br>・各大学や行政機関等からの情報を提供   | -   |

#### (4) 福祉関連産業振興事業

福祉関連産業の振興を目的とする産官学民によるネットワーク「えひめ福祉関連用具開発・普及協議会」を運営するとともに、福祉関連産業分野について企業と関係各機関等をコーディネートするウェルフェア・トータルアドバイザーを配置することにより、利用者ニーズの把握から生産へのフィードバックまでを視野に入れた、各種情報の共有化と連携体制の強化を図り、本県特有の利用者ニーズと県内の産業界及び大学等研究機関の技術シーズを結びつけ、県内事業者の福祉関連産業への事業展開を促進し、福祉関連産業を未来型知識産業の一つとして強力に育成・振興を推進した。

##### ウェルフェアに関するホームページの運営

テクノプラザ愛媛ホームページのウェルフェアに関するWeb「ライフサポート from えひめ」のコンテンツの充実と更新（毎月）を行った。

##### 福祉用具アイデアコンテストの開催（財団法人東予産業創造センターに委託）

個人及びグループを対象に、福祉関連用具アイデアコンテストを開催し、技術・人材等の地域資源の発掘を図るとともに、ユニバーサルデザインの考え方を周知した。

##### ア 福祉用具アイデアコンテストの実施

個人及びグループを対象に新たな事業の創出につながる地域資源（人材、技術）を発掘するため、福祉用具アイデアコンテストを実施した。69件の応募があり、審査の結果、優秀作品4点を選考した。

- ・愛媛県知事賞 「介護用スーパータオル『輪』」
- ・(財)えひめ産業振興財団理事長賞 「アンテープ」
- ・(財)東予産業創造センター理事長賞 「寝返り介助用具〔カンコロさん〕」
- ・特別賞 「スーパーのカートを使いやすいものにする」

##### ウェルフェア・トータルアドバイザーの設置

福祉関連企業に関する情報の収集・提供、マッチング、相談等に対応するため、ウェルフェア・トータルアドバイザー及びウェルフェア・アドバイザーを設置し、えひめ福祉関連用具開発・普及協議会の運営をはじめ、関係機関のネットワークの形成・連携強化、福祉関連産業に関する情報の収集・提供、試作品のモニタリングやフィッティングへの協力、技術開発や販路開拓の支援、企業や福祉施設等からの相談や照会に取り組んだ。

(ア) ウェルフェア・トータルアドバイザー 奥田ひとみ（福祉住環境コーディネーター）

(イ) ウェルフェア・アドバイザー 定岡 芳彦（愛媛大学工学部教授）

##### ア 「えひめ福祉関連用具開発・普及協議会」の運営

ユーザーニーズを反映した質の高い福祉関連用具の開発・改良・普及を支援する産官学民によるネットワークを構築し、県内の福祉関連産業の振興を図るため、「えひめ福祉関連用具開発・普及協議会」を運営し、情報の収集等を行うとともに、より高度なノーモラライゼーション社会実現のための事業を実施した。

##### (ア) 総会・運営委員会の開催

開催回数： 総会 2回  
運営委員会 4回

## (5) 産学官連携推進事業

### 産学官交流普及啓発事業

愛媛大学、新居浜工業高等専門学校及び弓削商船高等専門学校の教官と企業の技術者との交流会を4回開催した。

|   |       |              |     |      |
|---|-------|--------------|-----|------|
| ア | 新居浜高専 | 高度技術教育研究センター | 助教授 | 中山 亨 |
| イ | 愛媛大学  | 工学部 機能材料工学科  | 助教授 | 西田 稔 |
| ウ | 弓削高専  | 商船学科         | 教授  | 友田 進 |
| エ | 愛媛大学  | 工学部 環境建設工学科  | 助教授 | 羽藤英二 |

### 産学官連携コーディネート事業

産学官連携に資するため、大学などの研究機関や県内中小企業などを訪問してコーディネート活動を実施するとともに、産学官連携に関する会議などに出席して情報収集を行った。

### 大学発起業化助成事業

大学の保有する技術や人材を活用した新事業の創出を図るため、大学等が産業界と協力して生み出した大学発ベンチャー企業等に対し、経費の一部を助成した。

平成14年度 補助事業実績 6件

- (1) 平岡美由紀 (愛媛大学法文学部3年)  
「雑貨販売事業」
- (2) 山口 智忠 (松山大学経営学部2年)  
「インテリア・ファッション関係の委託販売事業」
- (3) 味元紀美江 (松山大学経済学部2年)  
「ハートフル～心の豊かさ贈ります～事業」
- (4) 後藤 佑介 (愛媛大学法文学部2年)  
「レザークラフト(革細工)及び古着の販売事業」
- (5) 大西秀次郎 (愛媛大学沿岸環境科学研究センター非常勤職員)  
「河川物質循環モデルを用いた新河川環境評価技術の開発・普及事業」
- (6) 牧野 耕輔 (元愛媛大学農学部非常勤職員)  
「大型炭化装置を利用した森林資源循環システムの構築事業」

### 地域新生コンソーシアム研究開発事業

地域において新産業・新事業を創出し、地域経済の活性化を図るため、中小企業を中心とする地域における産学官の強固な共同研究体制(地域新生コンソーシアム)を組むことにより、実用化の研究開発を実施した。

### ア 事業推進体制

- (ア) プロジェクト管理法人 財団法人えひめ産業振興財団  
(イ) 研究参加機関 (産)石井工業株式会社  
株式会社アドバンテック

(学) 愛媛大学

(官) 愛媛県工業技術センター

独立行政法人産業技術総合研究所

(ウ) 事業実施期間 平成14年度～15年度(2年間)

## イ 研究内容

(ア) 研究テーマ名 「マイクロデバイスによる微生物検出システムの開発」

(イ) 研究の概要

微生物のキャピラリー電気泳動分離と高感度検出方法をマイクロデバイスに発展させることにより、従来法をはるかにしのぐ迅速かつ高感度の性能を有する微生物検出システムの開発を目的とする。

具体的には、食中毒の原因の一つであるサルモネラ菌の検出、同定、生死判別を同時に行い、現在6時間から4日間かかっている検出時間を10分以内とする。

また、この技術で誰でも簡単、安全に扱える低コストの検出システムへ発展させて、使い捨て可能な微生物検査チップ及び簡易測定装置の開発を行う。

(ウ) 研究の分担

・) 石井工業株式会社

微生物検出マイクロチップの開発(送液混合システムの開発)

測定装置の開発(蛍光検出システムの開発、光学系の検討、システム開発)

・) 株式会社アドバンテック

微生物検出マイクロチップの開発(マイクロチップ材料及びシーリングの検討)

・) 愛媛大学

キャピラリー電気泳動による微生物分離検出技術の確立(微生物泳動制御因子の  
解明、微生物-マトリックス相互作用の解析)

抗体開発作製(抗原の検索、抗体の作製)

・) 愛媛県工業技術センター

キャピラリー電気泳動による微生物分離検出技術の確立(キャピラリー電気泳動  
の最適化、蛍光色素による微生物検出の検討)

抗体開発作製(抗原の検索、抗体の作製)

測定装置の開発(蛍光検出システムの開発、光学系の検討、システム開発)

・) 独立行政法人産業技術総合研究所

キャピラリー電気泳動による微生物分離検出技術の確立(キャピラリー電気泳動  
の最適化)

微生物検出マイクロチップの開発(マイクロチップの設計、送液混合システムの  
開発、マイクロチップ材料及びシーリングの検討)

## ウ 研究開発推進委員会及び技術委員会の開催

(ア) 第1回研究開発推進委員会及び技術委員会

日時 平成14年11月20日(水) 13:30～16:30

場所 テクノプラザ愛媛2階 特別会議室

(1) 第2回研究開発推進委員会及び技術委員会

日時 平成15年 2月24日(月) 14:00~17:00

場所 テクノプラザ愛媛2階 特別会議室

エ 成果概要

生体適合性素材として近年注目されているポリマーPDMSは、細胞等の付着が少ない素材として医療現場で利用され、マイクロチップの加工用素材としても利用され始めているので、本研究ではPDMS及びガラスを材料としたマイクロチップを設計、試作した。

また、微生物検出に適した蛍光励起用の光源としてLEDが利用可能かどうかを検討するため、市販されているLEDをサンプルとして、光源の波長特性などについて測定を行った。各LEDの電流値と発光波長特性及び輝度レベルの関連を把握することができた。供給する電流の値によって輝度レベルが変化すること、ピーク波長が数nmずれることがわかった。

都市エリア産学官連携促進事業

大学等の「知恵」を活用し新技術シーズを生み出し、新規事業の創出、産業競争力の育成を図るため、松山エリアを一つの都市エリアとし、この松山エリアにおける産学官連携事業を推進した。

ア 都市エリア名

松山エリア(松山市、伊予市、北条市、重信町、川内町、松前町、砥部町)

イ 事業推進体制

- |              |   |
|--------------|---|
| (ア) 中核機関     | 財団法人えひめ産業振興財団   |
| (イ) 核となる研究機関 | 愛媛大学<br>工業技術センター<br>窯業試験場   |
| (ウ) 参加企業     | 株式会社四国総合研究所電子技術研究所<br>新和工業株式会社<br>不二精機株式会社<br>株式会社ケン・マツウラレーシングサービス<br>キシホ工業株式会社 |
| (エ) 事業実施期間   | 平成14年度~16年度(3年間)  |

ウ 事業実施内容

(ア) 研究交流事業

- ・) 科学技術コーディネーターの設置

武知博紀(東レ株式会社OB)

委嘱の期間 平成14年9月1日~平成15年3月31日(常勤)

業務 研究交流会の開催等を通じた産学官ネットワークの構築  
 大学等のシーズや地域内企業のニーズの収集  
 可能性試験の実施及び進捗管理  
 共同研究、育成研究の提案  
 研究成果の特許戦略の立案及び事業展開構想の企画

・ ) 技術シーズ・ニーズの調査

松山エリアの製造業760社を対象に技術ニーズの調査を実施し、105社から回答を得た。

愛媛大学、工業技術センター、大企業の研究所等における技術シーズの調査を行った。

・ ) 産学官交流会の開催

日時 平成15年3月10日(月) 13:30~16:00

場所 テクノプラザ愛媛 1階 テクノホール

内容 基調講演 ~地域における産学官連携について~

文部科学省 科学技術・学術政策局 次長 井上正幸

松山エリア産学官連携促進事業プロジェクト研究発表

「センサー技術について」

愛媛大学工学部 助教授 青野 宏通

「生分解性プラスチックの発展と課題」

愛媛大学工学部 助教授 小稲 則夫

「化学蒸着技術の現状と将来について」

愛媛大学工学部 助教授 野村 信福

参加者 大学関係者、公設試験研究機関関係者、エリア内企業関係者 約80人

・ ) 可能性試験の実施

シーズ・ニーズ調査や公設試験研究機関、大学、企業等からの提案により、下記の8課題の可能性試験を実施した。

| 区分     | 課題名                                     | 研究者         | 参画企業名                |
|--------|---|-------------|----------------------|
| 県<br>関 | 工業技術センター<br>(1) レーザ利用によるSUS/AL材の接合可能性試験 | 友近主任<br>研究員 | (有)ユウキ精工             |
|        | (2) 消臭機能付加型天然多糖類の製造可能性試験                | 二神研究員       | (有)帝松サービス            |
|        | (3) リン吸着剤の水処理利用可能性試験                    | 加藤研究員       | (株)カトウ               |
|        | (4) 高性能微粉碎技術の食品製造への利用可能性試験              | 大野主任<br>研究員 | (株)世起                |
|        | (5) 未利用魚介類を利用した粉碎・乾燥による食材製造可能性試験        | 平岡主任<br>研究員 | (株)オカベ               |
| 係<br>場 | 窯業試験<br>(1) 砥部焼用新坯土技術可能性試験              | 奥本主任<br>研究員 | 伊予陶磁器協同組合            |
|        | (2) 粘土瓦焼成炉を利用した高機能セラミックス製造可能性試験         | 菅主任<br>研究員  | 中本製瓦所                |
| 大学     | 愛媛大学<br>(1) 化学センサー利用新技術試験               | 定岡教授        | 摂陽明正(株)<br>四国総研電子技術研 |

・) 市場調査

松山エリア産学官連携促進事業に係る液中プラズマ利用技術等の新しい製造技術及びその技術により生産される製品の市場性について調査を委託した。

委託先 株式会社カネカリサーチアソシエイツ

調査内容 D L C / ダイヤモンドの薄膜に関すること

バルクダイヤモンドに関すること

液中プラズマの化学反応炉としての利用に関すること

(イ) 共同研究事業

「液中プラズマ利用技術研究」(愛媛大学工学部)

液体中で、電磁波と超音波を重畳させ発生した微小気泡中にプラズマを発生させる「液中プラズマ」技術は、愛媛大学のオリジナル技術であり、その基幹基礎技術の産業への利用を目的に、研究試験を実施し、初期の成果を得た。

液中プラズマの基本的な発生条件の検討を行い、発生メカニズムを明らかにするとともに、実験装置の改良を行い、より実用性の高い、大気圧開放型液中プラズマ実現への手がかりを得た。

炭化水素中での液中プラズマによる反応生成物の分析検討を進めるなかで、基板上への蒸着実験を行い、従来のプラズマCVDの9,000倍の超高速でアモルファスカーボン膜が蒸着できる知見を得た。

局所的高温・高圧下での化学反応・分解炉としての利用のための探索研究試験を行い、国内特許1件を出願した。また、先に出願済みの液中プラズマ発生方法・装置及び液中プラズマ化学蒸着法と合わせたかたちでの海外特許出願(PCT出願)1件の計2件の特許出願を行った。

(ウ) 産学官連携促進事業運営委員会の開催

本事業の円滑な実施のため、関係機関による運営委員会を2回開催し、武知科学技術コーディネータの活動を支援するとともに、事業の成果等を評価した。

・) 第1回運営委員会

日時 平成14年11月27日(水) 13:30~15:30

場所 テクノプラザ愛媛2階 特別会議室

議題 都市エリア産学官連携促進事業の全体概要について

平成14年度事業計画について

事業全体のスキーム及び平成14年度事業進捗状況と

今後のスケジュール確認について

共同研究「液中プラズマ利用技術研究」について

・) 第2回運営委員会

日時 平成15年3月10日(月) 10:30~12:00

場所 テクノプラザ愛媛2階 特別会議室

議題 平成14年度事業の進捗状況について

「液中プラズマ」共同研究事業体制整備について

平成15年度事業計画について

共同研究「液中プラズマ利用技術研究」の進捗状況について

(I) 課題別研究会の開催

科学技術コーディネータを中心として、大学、愛媛県工業系試験研究機関及び松山エリアの中小企業等の研究担当者等が参加して、企業ニーズに適応した技術や今後利用が期待される先端技術について、都市エリア事業の可能性試験のテーマとしての適正を調査研究するため、課題別研究会（9研究会）を開催した。

| 区分              | 研究会名称            | 開催日                      | 内 容   | 講 師<br>大学等研究者  | 参加企業数<br>(参加者総数)                    |
|-----------------|------------------|--------------------------|---|--|-------------------------------------|
| 大 学             | センサー利用技術研究会      | 3月17日<br>14:00～<br>16:00 | 化学センサー技術についての最近の研究紹介とその利用における企業ニーズについて情報交換を行った。             | 愛媛大工学部<br>定岡教授   | 22社<br>(29名)                        |
| 工 業 技 術 セ ン タ - | 放電プラズマ焼結技術研究会    | 1月24日<br>13:30～<br>16:30 | 放電プラズマ焼結技術についての最新技術の紹介とその企業ニーズについて情報交換を行った。                 | 東北大金属材料<br>大森助手<br>住友重機テクノ<br>オート<br>荒木課長<br>愛媛大 工学部<br>八木助教授    | 8社<br>(18名)                         |
|                 | ネットワーク通信技術研究会    | 2月24日<br>13:30～<br>16:00 | ネットワーク通信技術及びIT技術についての最新技術の紹介とその企業ニーズについて情報交換を行った。           | 通信総研<br>南山特別研究員<br>愛媛大工学部<br>小林助教授                               | 8社<br>(20名)                         |
|                 | 環境調和型材料開発研究会     | 2月5日<br>13:00～<br>15:00  | 生分解性プラスチック等環境調和型の新機能性材料の紹介と環境浄化への用途展開における企業ニーズについて情報交換を行った。 | 産総研(四国)<br>廣津グループ長<br>愛媛大工学部<br>川崎助手                             | 9社<br>(25名)                         |
|                 | 環境浄化材料開発研究会      | 2月5日<br>15:30～<br>17:30  | 新機能性材料(無機材料)の紹介及びそれを用いた吸着剤等環境浄化への用途展開における企業ニーズについて情報交換を行った。 | O.I<br>三井部員<br>愛媛大工学部<br>松田教授                                    | 10社<br>(25名)                        |
|                 | カンキツ機能性成分利用技術研究会 | 2月27日<br>13:30～<br>15:30 | カンキツに含まれる機能性成分の紹介とその食品への利用における企業ニーズについて情報交換を行った。            | 農業技研機構果樹<br>研 矢野室長<br>愛媛大 医学部<br>辻田助教授                           | 14社<br>(26名)                        |
|                 | 珍味製造新技術研究会       | 3月4日<br>14:00～<br>16:00  | 魚介類に含まれる機能性成分の紹介とその珍味加工における企業ニーズについて情報交換を行った。               | 文教大短大 中島<br>教授<br>東雲短大 桑原教<br>授                                  | 9社<br>(16名)                         |
|                 | 窯 業 試 験 場        | 燻し瓦製造技術研究会               | 3月6日<br>19:00～<br>21:00                                     | 燻し瓦製造工程等での燻化技術、原土処理技術の情報交換を行い、その技術を利用した高機能セラミックス製品への応用について検討をした。 | 日本屋根経済新聞<br>内藤氏<br>愛媛大 工学部 田<br>中教授 |
| 砥部焼坏土製造技術研究会    |                  | 3月13日<br>15:00～<br>17:00 | 陶磁器坏土の調整技術及び新製品開発についての情報交換をした。                              | 共立マテリアル<br>阿久GL<br>愛媛大 工学部<br>田中教授                               | 5社<br>(11名)                         |

(6) 経営技術診断・助言事業

県内の中小企業が、経営環境の変化に対応し、安定した経営の維持運営が図られるよう、11企業に対し民間の専門家をのべ134回派遣して、経営や技術上の問題について、診断や助言を行った。

(7) IT人材育成研修(有料)

進展する情報技術に対応するため、専門分野に特化した高度な知識と技術を備えた人材の育成を目的とし、高度な情報処理技術者を養成する研修を9コース実施した。

| 講座名                    | 研修内容  | 日程                                     | 講師                | 参加者 | 場所       | 受講料     |
|------------------------|---|--|-------------------|-----|----------|---------|
| Javaプログラミング基礎          | Java言語を使用してプログラミングを作成する為に必要な基礎知識、オブジェクト指向的なプログラミングをJava言語で実現する為の方法。 | 平成14年<br>6月26日<br>～<br>6月28日<br>(3日間)  | グローバルレッジネットワーク(株) | 20名 | テクノプラザ愛媛 | 20,000円 |
| Webユーザーインターフェース構築技法    | Webブラウザを利用してユーザビリティに優れたユーザーインターフェイスを構築。                             | 平成14年<br>7月10日<br>～<br>7月12日<br>(3日間)  | グローバルレッジネットワーク(株) | 20名 | テクノプラザ愛媛 | 21,000円 |
| コンピュータネットワーク技術         | データ通信技術の基本およびネットワーク全般。  | 平成14年<br>7月24日<br>～<br>7月26日<br>(3日間)  | グローバルレッジネットワーク    | 19名 | テクノプラザ愛媛 | 21,000円 |
| Jabaプログラミング応用          | 実際の開発で必要となる知識。  | 平成14年<br>9月25日<br>～<br>9月27日<br>(3日間)  | グローバルレッジネットワーク(株) | 18名 | テクノプラザ愛媛 | 20,000円 |
| MS windows2000システム管理基礎 | Windows2000の日常的な運用管理作業。   | 平成14年<br>10月9日<br>～<br>10月11日<br>(3日間) | グローバルレッジネットワーク(株) | 18名 | テクノプラザ愛媛 | 20,000円 |

|                           |  |                                       |               |     |              |         |
|---------------------------|--|---------------------------------------|---------------|-----|--------------|---------|
| オラクル<br>入門SQL編<br>(前期)    | これからのOracleデータベースを学んでいく上で必須の知識となる、リレーショナルデータベースへの標準アクセス言語であるSQL言語に関する知識。 | 平成14年<br>9月10日<br>～<br>9月11日<br>(3日間) | 日本オラクル<br>(株) | 13名 | テクノプラ<br>ザ愛媛 | 32,000円 |
| オラクル<br>入門データベース<br>編(前期) | Oracleを使用する方に必須のコースです。Oracleを使用したシステムを設計、開発、運用される方にとって必要なOracleの基礎知識。    | 平成14年<br>9月12日<br>～<br>9月13日<br>(2日間) | 日本オラクル<br>(株) | 14名 | テクノプラ<br>ザ愛媛 | 32,000円 |
| オラクル<br>入門SQL編<br>(後期)    | これからのOracleデータベースを学んでいく上で必須の知識となる、リレーショナルデータベースへの標準アクセス言語であるSQL言語に関する知識  | 平成14年<br>12月3日<br>～<br>12月4日<br>(2日間) | 日本オラクル<br>(株) | 14名 | テクノプラ<br>ザ愛媛 | 32,000円 |
| オラクル<br>入門データベース<br>編(後期) | Oracleを使用する方に必須のコースです。Oracleを使用したシステムを設計、開発、運用される方にとって必要なOracleの基礎知識。    | 平成14年<br>12月5日<br>～<br>12月6日<br>(2日間) | 日本オラクル<br>(株) | 13名 | テクノプラ<br>ザ愛媛 | 32,000円 |

(8) 債務保証事業

高い技術力を有しながら、資金調達力不足のために研究開発に取り組むことができない中小企業のために、研究開発資金の借入れに対して無担保の債務保証を実施する制度である。金融機関に働きかけるとともに、企業に対する啓発に努めたが、今年度は利用に至らなかった。なお、これまでの実績は11企業に債務保証しており、うち継続中のものは1企業である。

(9) 技術振興事業 (技術振興事業特別会計)

自主研究開発事業として高度技術研究所において、「電力線通信(PLC)を用いた分散情報利用システムの開発研究」を行った。

|            |   |
|------------|---|
| 研究テーマ名     | 電力線通信(PLC)を用いた分散情報利用システムの開発研究 (H14～H15)   |
| 共同研究先      | パーカル株式会社 愛媛大学工学部電気電子工学科   |
| 研究概要       | <p>現在、電話回線やLAN・無線等の通信形態があるが、近年電力線を用いた新しい通信方式(以下PLC:Power Line Communication)が注目されている。これは、どの施設にもある電力線を通信に利用しようというもので新しくLANの配線をする必要がないというメリットがある。</p> <p>そこで、本研究では、PLCを活用して複数のセンサ等を配置した分散情報の収集と分析を可能とするシステムを研究開発する。</p> |
| 平成14年度研究成果 | PLCモデム1対を親機子機にして、パソコンへのデータ集積、パソコンから端末のデジタル出力装置を駆動して照明の点灯操作等の実験を実施した。  |

(10) 地域技術起業化推進事業

産学共同研究事業として高度技術研究所において、「IPv6を利用したメディアデータ配信システムの高度化開発研究」を行った。

|            |  |
|------------|--|
| 研究テーマ名     | IPv6を利用したメディアデータ配信システムの高度化開発研究 (H14～15)  |
| 共同研究先      | 有限会社ネットプラン松山 愛媛大学総合情報メディアセンター  |
| 研究概要       | <p>通信回線の高速化が進展するとともに、新しいインターネットの規格IPv6が普及すれば、インターネット端末の爆発的な増加が予想されている。そのため今後、映像や音声を駆使したコンテンツやサービスが提供できるデータ配信システムが必要になってくる。</p> <p>そこで本研究では、IPv6を利用したメディア・データの配信システムの高度化について研究を行い、その能力の検証を行う。</p> |
| 平成14年度研究成果 | 研究用の超高速インターネット回線でIPv6による双方向通信実験を実施し、メディアデータをネットワークで伝送するための知見を得た。   |

(11) 研究開発型企業等支援事業

研究開発型企業等投資支援事業(間接投資事業)

平成7年度から実施している事業で、創造的な事業活動を行う研究開発型の中小企業を育成するため、中小企業創造活動促進法の認定企業に対し、民間投資会社を通じて株式取得や社債引受けを行う事業である。

14年度は(株)サバンに対して14,000,000円の債務保証とひめぎん総合リースを通して20,000,000円の社債引受を実行した。

なお、これまでの実績は、13企業に対し16回の投資を実施している。

## ベンチャーリース事業（割賦・リース事業）

平成11年度から実施している事業で、創造的な事業活動を行う研究開発型の企業など活力のある中小企業を育成するため、中小企業創造活動促進法の認定企業及びそれに類する企業に対し、低利で割賦販売又はリースを行う事業である。認定企業等に対し啓発に努めたが、本年度は利用に至らなかった。

なお、これまでの実績は、1企業に対し1契約による割賦販売を実施している。

投資継続案件一覧表

|    | 投資実行日    | 投資企業名                | 投資内容          | 取扱投資会社       |
|----|----------|----------------------|---------------|--------------|
| 1  | 8.3.27   | (株)三好鉄工所             | 3千万円 ワラント 10年 | ひめぎん総合リース(株) |
| 2  | 9.3.14   | IT・E-システムインジニアリング(株) | 3千万円 ワラント 10年 | いよぎんキャピタル(株) |
| 3  | 9.3.14   | (株)アイ・エヌ・エス          | 3千万円 ワラント 10年 | ひめぎん総合リース(株) |
| 4  | 9.8.21   | (株)三好鉄工所             | 3千万円 ワラント 10年 | ひめぎん総合リース(株) |
| 5  | 9.8.21   | (株)サカワ               | 3千万円 ワラント 10年 | ひめぎん総合リース(株) |
| 6  | 10.2.3   | (株)スリーテック            | 3千万円 ワラント 10年 | ひめぎん総合リース(株) |
| 7  | 10.2.3   | フジエース(株)             | 3千万円 ワラント 10年 | ひめぎん総合リース(株) |
| 8  | 10.12.1  | (株)開発技術センター          | 3千万円 ワラント 10年 | ひめぎん総合リース(株) |
| 9  | 11.10.14 | (株)タイワ               | 3千万円 ワラント 10年 | ひめぎん総合リース(株) |
| 10 | 11.10.14 | フジエース(株)             | 3千万円 ワラント 10年 | ひめぎん総合リース(株) |
| 11 | 12.1.27  | (株)ベネアス              | 3千万円 ワラント 10年 | ひめぎん総合リース(株) |
| 12 | 13.3.25  | (株)サカワ               | 1千万円 ワラント 10年 | ひめぎん総合リース(株) |
| 13 | 14.3.25  | (株)サパン               | 2千万円 ワラント 10年 | ひめぎん総合リース(株) |
|    |          | 13件 / 10先            | 3億6千万円        |              |

## 研究開発型企業等間接投資支援について

### 1. 対象先

中小企業創造活動促進法の認定を受けた者（これから創業する者も対象）及びその認定に類すると県が認めた者で、株式会社及び株式会社を設立する者

### 2. 支援内容

ベンチャー財団から投資原資の低利預託を受けたベンチャーキャピタルが、株式、転換社債及びワラント債引き受けを行う。

### 3. 債務保証

ベンチャーキャピタルの社債引き受けを促進するため、中小企業創造活動促進法の認定を受けた場合などに、ベンチャー財団がベンチャーキャピタルの社債引き受け額の一部(70%)について保証する。

### 4. 条件

- ・一回当たり投資額3千万円(一企業につき1億円まで)
- ・償還期間10年以内
- ・利率は実行時の長期プライムレート
- ・担保は不要ただし保証人として代表取締役の徴求が必要

## 2 中小企業振興部関係

### (1) 設備貸与事業

小規模企業者等が創業や経営基盤の強化のために必要とする設備を貸与した。

|          |           |
|----------|-----------|
| 貸与実績額    | 185,080千円 |
| ア 割賦設備額  | 170,050千円 |
| イ リース設備額 | 15,030千円  |

業種別貸与状況 (単位：千円)

| 業 種      | 申 請 |     |         | 決 定 |     |         |
|----------|-----|-----|---------|-----|-----|---------|
|          | 企業数 | 台 数 | 金 額     | 企業数 | 台 数 | 金 額     |
| 製 造 業    | 9   | 15  | 104,366 | 9   | 15  | 104,340 |
| 建 設 業    | 1   | 2   | 57,750  | 1   | 2   | 57,750  |
| 商業・サービス業 | 1   | 1   | 22,995  | 1   | 1   | 22,990  |
| 合 計      | 11  | 18  | 185,111 | 11  | 18  | 185,080 |

### (2) 設備資金貸付事業

小規模企業者等が創業や経営基盤の強化のために必要とする設備資金の1/2以内を無利子で貸付けた。

|       |           |
|-------|-----------|
| 貸付実績額 | 100,020千円 |
|-------|-----------|

業種別貸付状況 (単位：千円)

| 業 種      | 申 請 |     |         | 決 定 |     |         |
|----------|-----|-----|---------|-----|-----|---------|
|          | 企業数 | 台 数 | 金 額     | 企業数 | 台 数 | 金 額     |
| 製 造 業    | 1   | 2   | 16,530  | 1   | 2   | 16,530  |
| 建 設 業    | 3   | 4   | 78,470  | 3   | 4   | 78,470  |
| 商業・サービス業 | 1   | 1   | 5,020   | 1   | 1   | 5,020   |
| 合 計      | 5   | 7   | 100,020 | 5   | 7   | 100,020 |

### (3) 機械類貸与事業

中小企業者が創業や経営基盤の強化のために必要とする設備を貸与した。

|          |           |
|----------|-----------|
| 貸与実績額    | 140,050千円 |
| ア 割賦設備額  | 66,300千円  |
| イ リース設備額 | 73,750千円  |

#### 業種別貸与状況

(単位：千円)

| 業 種      | 申 請 |     |         | 決 定 |     |         |
|----------|-----|-----|---------|-----|-----|---------|
|          | 企業数 | 台 数 | 金 額     | 企業数 | 台 数 | 金 額     |
| 製 造 業    | 3   | 4   | 74,813  | 3   | 4   | 74,800  |
| 商業・サービス業 | 2   | 2   | 65,250  | 2   | 2   | 65,250  |
| 合 計      | 5   | 6   | 140,063 | 5   | 6   | 140,050 |

#### ○ 設備導入資金等審査委員会

当委員会は、設備貸与事業、機械類貸与事業、設備資金貸付事業等の対象とする企業の選定について審議するために設置しており、平成14年度は次のとおり開催した。

| 開催年月日          | 開催場所          | 審 議 事 項              |
|----------------|---------------|----------------------|
| 平成14年 5月20日(月) | テクノプラザ<br>愛媛  | 設備貸与、機械類貸与事業の審査について  |
| 平成14年 7月11日(木) | 東京第一ホテル<br>松山 | 設備貸与、設備資金貸付事業の審査について |
| 平成14年 8月 9日(金) | 東京第一ホテル<br>松山 | 設備貸与、設備資金貸付事業の審査について |
| 平成14年 9月 5日(木) | 持ち回り          | 設備貸与事業の審査について        |
| 平成14年11月20日(水) | 東京第一ホテル<br>松山 | 設備貸与、設備資金貸付事業の審査について |
| 平成14年12月19日(木) | 持ち回り          | 設備貸与事業の審査について        |
| 平成15年 2月12日(水) | 持ち回り          | 設備貸与事業の審査について        |
| 平成15年 2月20日(木) | 持ち回り          | 機械類貸与事業の審査について       |

(4) 中間技術企業化資金貸付事業

中間技術を企業化する中小企業者に対し、その企業化に必要な設備資金及び運転資金を貸し付ける制度であるが、本年度は希望する該当者がなく、実績には至らなかった。

(5) 中心市街地商業活性化推進事業

タウンマネージメント機関(TMO)等が行う中心市街地における中小商業の活性化に寄与する事業活動に対し、助成金を交付した。

事業別状況

| 事業               | 件数 | 助成額(千円) |
|------------------|----|---------|
| 広域ソフト事業          | 1  | 2,880   |
| 事業設計・調査・システム開発事業 | 4  | 5,870   |
| 合計               | 5  | 8,750   |

地域別状況

| 地域 | 件数 | 助成額(千円) |
|----|----|---------|
| 中予 | 5  | 8,750   |

(6) 商店街競争力強化推進事業

商店街振興組合等が行う中小商業の活性化や競争力の強化のために寄与する事業に対して助成金を交付した。

事業別状況

| 事業               | 件数 | 助成額(千円) |
|------------------|----|---------|
| 事業設計・調査・システム開発事業 | 1  | 750     |

地域別状況

| 地域 | 件数 | 助成額(千円) |
|----|----|---------|
| 中予 | 1  | 750     |

○ 商業活性化推進委員会

当委員会は、中心市街地商業活性化推進事業、商店街競争力強化推進事業等の助成対象事業の選定について審議するために設置しており、平成14年度は次のとおり開催した。

| 開催年月日         | 開催場所          | 審議事項                  |
|---------------|---------------|-----------------------|
| 平成14年5月24日(金) | 東京第一ホテル<br>松山 | 中心市街地商業活性化推進事業の審査について |
| 平成14年10月2日(水) | 持ち回り          | 商店街競争力強化推進事業の審査について   |

(7) 下請企業振興事業

下請取引情報提供事業

広域的かつ効率的な下請取引あっせんを推進し、受注の確保を図るため受注開拓巡回訪問等を実施するとともに、下請取引にかかる苦情紛争の相談を実施した

ア 受注開拓名簿の作成

| 対象業種    | 印刷部数 | 内 容                      |
|---------|------|--------------------------|
| 鉄工・電気関連 | 700部 | 受注登録企業の設備内容、受注可能品等について掲載 |

イ 広域商談会の実施

(ア) ニーズ調査

| 調査企業数  | 調査対象    | 内 容                    |
|--------|---------|------------------------|
| 1,310社 | 鉄工・電気関連 | 新規の外注計画や商談会への参加の有無について |

(イ) 商談会

| 開催年月日  | 開催場所 | 参加発注企業数 | 参加受注企業数 | 商談件数 |
|--------|------|---------|---------|------|
| 15.2.7 | 松山市  | 11社     | 47社     | 114件 |

(ウ) 研修会

| 開催年月日  | 開催場所 | テ - マ                    |
|--------|------|--------------------------|
| 15.2.7 | 松山市  | 参加発注企業による自社の概要及び外注施策について |

ウ 発注開拓促進事業の実施等

(ア) 発注開拓調査

| 調査企業数 | 調査対象    | 内 容                 |
|-------|---------|---------------------|
| 861社  | 鉄工・電気関連 | 今後の生産計画や新規の外注計画について |
| 264社  | 縫 製 関 連 | ”                   |

(イ) 発注開拓促進事業

| 実施年月日       | 参加人数 | 訪 問 企 業                                       |
|-------------|------|---|
| 14. 8. 8～ 9 | 1名   | (株)東芝電力システム社、日本ファーンレス工業(株)、東芝機械(株)、石川島運搬機械(株) |
| 14.12.19～20 | 1名   | 東洋精密工業(株)、(株)タカコ、三洋電機(株)                      |
| 15. 2.25～26 | 2名   | 日新電機(株)、ユニチカ(株)、大和製衡(株)                       |
| 15. 3. 6～ 7 | 2名   | (株)旭プレシジョン、(株)松尾                              |

エ 下請中小企業専門調査員事業

|      |      |
|------|------|
| 企業訪問 | 220社 |
|------|------|

オ 中小企業テクノフェア開催事業

|       |                |                |
|-------|----------------|----------------|
| 場 所   | 大阪会場（インテックス大阪） | 東京会場（東京ビッグサイト） |
| 会 期   | 14.9.11～13     | 14.9.25～27     |
| 出展小間数 | 4社6小間（当県分）     | 4社4小間（当県分）     |
| 入場者数  | 28,674名        | 84,342名        |
| 相談件数  | 586件（当県分）      | 521件（当県分）      |
| 商談実績  | 320件（当県分）      | 337件（当県分）      |

カ 自立化販路開拓支援事業

(ア) 開発製品・技術等調査

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 調査企業数 | 内 容                        |
| 398社  | 自社製品・技術保有状況、当事業への参加の有無について |

(イ) ガイドブック作成

|        |                                 |
|--------|---------------------------------|
| 作成部数   | 内 容                             |
| 1,000部 | 17社の開発製品名、加工技術名、特長、用途、使用等について掲載 |

キ 下請中小企業取引条件改善講習会の実施等

(ア) 下請中小企業取引条件改善講習会

|         |      |      |                             |
|---------|------|------|-----------------------------|
| 開催年月日   | 開催場所 | 参加者数 | 内 容                         |
| 15.2.19 | 松山市  | 40名  | 下請代金支払遅延等防止法、外注取引基本契約書等について |

(イ) 下請事業者巡回講習会

|          |      |      |                        |
|----------|------|------|------------------------|
| 開催年月日    | 開催場所 | 参加者数 | 内 容                    |
| 14.12.18 | 新居浜市 | 21名  | 下請中小企業の現況と下請法及び振興基準の活用 |

ク 経営基盤向上等情報提供事業

|          |      |                 |     |
|----------|------|-----------------|-----|
| 開催年月日    | 開催場所 | テ - マ           | 参加者 |
| 14.11.29 | 丹原町  | 鋳仕上げの現状と動向      | 16名 |
| 15.3.19  | 松山市  | 今後の国内でのモノ造りについて | 17名 |

業種別登録企業数等

ア 業種別登録企業数

| 業種    | 前年度までの計 |     |     | 14年度(増減) |    |    | 累 計 |     |     |
|-------|---------|-----|-----|----------|----|----|-----|-----|-----|
|       | 発注      | 受注  | 計   | 発注       | 受注 | 計  | 発注  | 受注  | 計   |
| 鉄工・電気 | 113     | 394 | 507 | +1       | +3 | +4 | 114 | 397 | 511 |
| 縫 製   | 138     | 257 | 395 |          | +1 | +1 | 138 | 258 | 396 |
| そ の 他 | 15      | 26  | 41  | +1       | +2 | +3 | 16  | 28  | 44  |
| 計     | 266     | 677 | 943 | +2       | +6 | +8 | 268 | 683 | 951 |

イ 業種別あっせん成立件数及び契約当初受注金額

| 業 種   | 成立件数 | 契約当初受注金額  |
|-------|------|-----------|
| 鉄工・電気 | 26件  | 120,194千円 |
| 縫 製   | 11件  | 18,518千円  |
| そ の 他 | 3件   | 16,350千円  |
| 計     | 40件  | 155,062千円 |

### 3 産業情報センター関係

#### (1) 愛媛県産業情報センター管理運営事業

愛媛県からの委託により、愛媛県産業情報センター及び産業情報総合ネットワークシステムの管理・運営を行った。

愛媛県産業情報センターの運営管理

##### ア 施設の貸出

###### (ア) データ処理室（3室）

- ・映像系のマルチメディア素材の作成と編集
- ・音声系のマルチメディア素材の作成と編集
- ・データのデジタル入力とカラー出力

###### (イ) マルチメディアソフト制作体験室（6室）

- ・高度なマルチメディアソフトの制作

###### (ウ) モニタリングルーム

- ・大型画面によるマルチメディアソフトの発表・視聴

###### (エ) ネットワーク研修室

- ・インターネット・マルチメディアの研修

##### イ 施設の利用状況

| 利 用 施 設             | 件 数 | 人 数   |
|---------------------|-----|-------|
| デ ー タ 処 理 室 （ 3 室 ） | 101 | 203   |
| マルチメディア製作体験室（6室）    | 149 | 153   |
| モニタリング室・ネットワーク研修室   | 44  | 755   |
| 合 計                 | 294 | 1,111 |

産業情報総合ネットワークシステムの運営管理

ア 名 称 産業情報総合ネットワーク（ehime-iinet）

##### イ 機 能

(ア) インターネット接続 8 Mbps（帯域保証あり）

(イ) ダイアルアップ接続 伊予三島出張所、西条地方局、今治地方局、台ダム管理事務所、産業情報センター、久万出張所、大洲出張所、八幡浜地方局、宇和出張所、宇和島地方局、御荘出張所（11カ所）

(ウ) 常時接続 フレッツISDN、フレッツADSL

##### ウ 発信する情報

(ア) 愛媛のプロフィール、新着情報、iinet掲示板

###### (イ) 産業情報

企業情報、企業情報インデックス版、産業紹介、物産情報、伝統産業情報、企業誘致情報、図書情報、ビデオ情報

###### (ウ) 提供情報

中小企業支援情報、情報センター事業情報、財団事業情報

(2) 産業情報センター情報化支援事業

県内中小企業の情報ニーズに応えるため、迅速かつ的確な情報の収集、加工、創出、提供等の体制を確立するとともに、中小企業の情報化を支援した。

支援体制整備円滑化事業

ア 情報提供

(ア) 「情報えひめ」の発行（年4回）

(イ) 「経営革新に導くIT戦略」の発行（年3回）

イ 調査

(ア) 「中小企業のための人材情報調査」（中四国情報センター共同調査）

(イ) 「県内企業IT化実態調査」

ウ 情報発信機器の整備

図書情報、各種調査情報等の地域固有情報を提供するための機器の整備

支援機関等連携促進事業

県外中小企業支援機関との連携強化を図るための会議等への参加。

(3) 中小企業IT化推進対策事業

情報通信技術が進展する中、県内のインターネット接続率は全国平均より低いことから、IT普及員が県内中小企業を訪問し、インターネットの導入及び活用の拡大を図るための普及活動を行った。

離職者の雇用

ア IT普及員 42名

・西条地域（新居浜事務所） 6名

・今治地域（今治事務所） 6名

・松山地域（松山事務所） 24名

・八幡浜地域（大洲事務所） 2名

・宇和島地域（宇和島事務所） 4名

イ 連絡調整員 6名（松山事務所）

企業訪問

| 区分          | 西条    | 今治    | 松山     | 八幡浜   | 宇和島   | 合計     |
|-------------|-------|-------|--------|-------|-------|--------|
| 企業訪問数（延件数）  | 3,144 | 3,079 | 13,008 | 2,885 | 1,732 | 23,848 |
| 企業訪問数（実件数）  | 2,350 | 2,673 | 9,687  | 2,384 | 1,381 | 18,475 |
| 訪問時間聞き取り調査  | 1,630 | 1,865 | 6,002  | 1,631 | 1,097 | 12,225 |
| パソコン保有企業    | 1,250 | 1,160 | 3,406  | 875   | 738   | 7,429  |
| インターネット接続企業 | 955   | 922   | 2,449  | 596   | 522   | 5,444  |
| パソコン保有率     | 76.7% | 62.2% | 56.8%  | 53.6% | 67.3% | 60.8%  |
| インターネット接続率  | 58.6% | 49.4% | 40.8%  | 36.5% | 47.6% | 44.5%  |

#### (4) 地域産業情報化推進事業

情報通信関連産業の振興及び県内中小企業の情報化を図るため、新事業支援機関及び県内情報通信関連企業等から構成される研究会を開催し、相互交流を促進することにより、支援体制の連携強化を図った。

##### 研究会の設置

愛媛県地域産業情報化推進研究会（会員 23名）

##### 研究会の開催

| 回数  | 開催日        | 協議内容  | 出席者 |
|-----|------------|---|-----|
| 第1回 | 平成14年6月14日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第二次愛媛県高度情報化計画について（講師：愛媛県情報政策課 俊野課長補佐）</li> <li>・産業情報ネットワークの現状について</li> <li>・先進地の状況について</li> </ul>       | 22名 |
| 第2回 | 平成14年8月28日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・先進地視察（岐阜県）の結果報告について</li> <li>・先進事例講演<br/>「産学官のネットワークを生かすTAMAの取組み」<br/>（講師：首都圏産業活性化協会 岡崎事務局長）</li> </ul> | 18名 |
| 第3回 | 平成14年10月8日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域産業の情報化の現状について</li> <li>・地域産業情報化支援の具体策について</li> </ul>  | 19名 |
| 第4回 | 平成15年3月13日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内企業IT化実態調査について</li> <li>・平成14年度研究会の活動成果報告について</li> <li>・今後の研究会活動について</li> </ul>                        | 17名 |

#### (5) IT活用人材育成事業（ITセミナー）

県内中小企業者が進展する情報技術に対応した変革を乗り切るため、ITの必要性に対する理解を促すことを目的として、経営者や創業者に対するITセミナーを開催した。

| 開催日時                       | 開催場所            | 内容   | 参加者  |
|----------------------------|-----------------|--|------|
| 平成14年11月29日<br>13:30～15:30 | アイテムえひめ<br>大会議室 | 「新しい市場をつくる<br>～Webメディアビジネスの舞台裏」<br>講師<br>Cafeglobe.com<br>代表取締役 矢野 貴久子 | 137名 |

#### (6) 小売商業支援センター活動事業

大型店の郊外出店増、消費者ニーズの多様化等により、厳しい環境におかれている中小小売商業者に対し、個別商店の競争力強化や商店街におけるマネジメント機能の強化を図るため、小売商業支援センター活動事業を実施した。

### 情報の収集・提供

- ア 業界誌、新聞等の閲覧サービス
- イ 情報誌の発行（年4回 インターネット同時情報発信）
- ウ ホームページによる情報提供（情報えひめ マンスリーレポート 年11回）

### 小売商業支援情報発信事業

県内各地の商店街や商業集積（個店を含む）で催される集客イベントにかかる情報等を、店主・主催者自らがインターネットを通じて発信した。

- ア 今治中心商店街（いここい今治＜新規＞）
- イ 大洲肱北商店街（大洲いろは便＜新規＞）
- ウ 伊予三島中心商店街（いよみしま秋桜通り）
- エ 松山市周辺青果商業者グループ（伊予の八百屋さん）
- オ 松山中央商店街（坊っちゃんストリートガイド）
- カ 宇和島中央商店街（宇和島きさいやロード）
- キ 道後商店街（道後ハイカラ通り）

### 情報提供・調査分析事業

#### ア 情報提供事業（セミナー、講習会）

| 開催日         | 開催場所              | 講演テーマ  | 参加者 |
|-------------|-------------------|--|-----|
| 平成14年8月26日  | JALシティ松山<br>（松山市） | 「SCにおける顧客情報<br>徹底活用実践例」<br>「着眼点が変われば戦略が変わる<br>顧客情報はこう活かす！」 | 65名 |
| 平成14年10月1日  | 今治国際ホテル<br>（今治市）  | 「商店街情報発信事業の軌跡」<br>「商店街情報発信の<br>今後の活用方策について」                | 46名 |
| 平成14年10月15日 | 岡会館<br>（宇和島市）     | 「商店街情報発信の現状と課題」  | 27名 |

#### イ 調査分析事業

##### 地域商店街状況調査

「活力ある商店街を目指して ～ITを活用した事業展開～」

#### (7) 中小小売商業商圈等調査指導事業

中小小売商業者の経営環境は、一段と厳しさを増しているため、消費者の購買行動を調査分析し、経営の基盤となる「商圈」や消費者特性を把握し、中小小売商業者が経営方針等を立案するための基礎資料として提供するとともに、それに基づく個別指導を行った。

##### 商圈等調査の実施

- ア 対象地域 南予地域
- イ 調査・分析事項

地域別商圈、商品別消費動向、性別・年齢別消費動向、  
大型店、商店街別顧客満足度、家庭構成別消費動向

調査・分析結果の報告

調査結果報告書の配布及び報告会の開催により調査結果の周知を図った。

ア 開催日 平成15年3月18日

イ 開催場所 宇和島市

**(8) エネルギー使用合理化設備導入促進支援事業**

中小企業総合事業団からの委託を受け、県内中小企業のエネルギー使用合理化を促進するため、啓蒙普及及び相談指導を実施するとともに、中小企業総合事業団のエネルギー使用合理化専門員を派遣した。

|                    |     |
|--------------------|-----|
| 啓蒙普及活動（対象企業への個別説明） | 65社 |
| 事前調査               | 15社 |
| エネルギー使用合理化専門員の派遣   | 5社  |

**(9) 生涯学習情報システム運営管理事業**

愛媛県からの委託を受け、愛媛県産業情報センター内に設置している「生涯学習情報提供システム」を維持管理した。

**(10) 美術館情報システム運営管理事業**

愛媛県美術館からの委託を受け、愛媛県産業情報センター内に設置している「生涯学習情報提供システム」の情報発信WWWサーバ等に構築されている、美術館ホームページ・美術情報システムを維持管理した。

**(11) NPO・ボランティア情報システム運営管理事業**

愛媛県からの委託を受け、インターネットにより常に最新のNPO・ボランティア情報を提供するシステムの運営管理に必要な業務を実施した。

**(12) いやしのくに四国情報システム管理事業**

いやしのくに四国交流推進協議会（四国4県で構成）からの委託を受け、いやしのくに四国交流推進協議会情報発信ホームページの情報発信サーバー等の機器を維持管理した。

(13) 環境・安全等対策関連講習会開催事業

中小企業の経営に資するため、国際的な事業展開及び環境管理・監査制度等に関心を持つ中小企業者を対象に講習会を開催した。

| 講習会名                    | 開催日         | 開催場所          | 参加者 |
|-------------------------|-------------|---------------|-----|
| 環境管理・監査制度対応講習会          | 平成14年9月20日  | 西条市産業情報支援センター | 67名 |
| 自動車リサイクル法・フロン回収破壊法対応講習会 | 平成14年12月11日 | 東京第一ホテル松山     | 87名 |
| 愛媛県中小企業国際化セミナー          | 平成15年2月21日  | アイテムえひめ       | 69名 |

(14) IT導入支援システム運営管理事業

中小企業の企業競争力・体質の強化、販路拡大の実現化等をITを通じて支援するため、企業情報化支援サービス(ASP方式)を整備し、中小企業のITの積極的な導入・活用を支援した。

情報共有支援システム(グループウェア機能)

組織内における個人の「情報・ノウハウ・経験」の共有財産化、企業意思決定の迅速化及び業務効率化等を支援。

企業間連携支援システム(サプライ・チェーン・マネジメント機能)

企画・発注・生産の企業間、組織間の迅速な情報流通の実現化を図り、リードタイムの短縮、生産性の向上を支援。

(15) 電子商取引推進事業

産業情報総合ネットワーク(ehime-iinet)に、販売網の確保や店舗への投資が不要で、小規模の店舗でも全世界へと市場を拡大でき、ビジネスチャンスに繋がる県内中小企業者による仮想共同店舗「えひめバーチャルモール」を運営し、電子商取引に関する支援を行った。

バーチャルモールの運用

ア 「えひめバーチャルモール」を運用し、出店者に以下の機能を提供した。

商品検索、オンラインによる受注、利用者管理、電子決済、商品登録

イ 集客力向上のための販売促進活動について企画立案、実施。

バーチャルモールの知名度向上、販売促進及び出店者の利便性向上にかかる作業を実施した。

バーチャルモール運営研修会等の開催

ア 研修会の開催

バーチャルモール内でショップを運営するための技術・ノウハウを向上させるため、研修会を4回開催した。

イ 出店者会議の開催

バーチャルモールの運営方針及び販売促進企画等を検討するため、出店者会議を4回開催した。

(16) 情報化基盤整備促進事業

県内中小企業者がコンピュータ等の情報通信機器を有効に活用するなど、自らの情報化を推進していくために、ネットワーク化の推進や啓蒙普及活動等を行った。

(17) 戦略的情報化投資活性化支援事業

IT活用の重要性、導入・運用までの手法についての理解を深めるとともに、今後の業界としての体質強化を図るため、宇摩地域の紙・紙関連企業の経営責任者等を対象に経営戦略・情報化企画等に関する交流会を開催した。

対 象 者 紙パルプ工業会及び宇摩地区キー産業振興協議会会員企業等（15名）

テ ー マ 「ITを活用した共同事業ビジョン策定と実施計画作成」

開催時期 平成14年8月～11月

開催回数 7回

(18) 南予地域観光振興イベントシステム運営管理事業

南予地域の観光振興イベントの一環として、一般県民、旅行者、観光・旅行業者等を対象として構築した「南予地域観光振興イベントホームページ」の情報発信サーバの維持管理を行った。